

私とロータリー

寄稿

国際ロータリーにはロータリーの精神を表す標語が2つある。第1の標語は「超我の奉仕」であり、「奉仕の理念」を表す。すなわち「私心無き奉仕」「代償を求めない奉仕」「奉仕させてもらうことに感謝と喜びを感じる」とのことである。

第2の標語は「最も良く奉仕するものは最も多く報われる」である。「最も良く」は英文では

第2760地区拡大委員会委員長

杉浦 壽康 (中)

「best」で、奉仕の10年度からは「新世代れば仕事もうまくいくだ内容と在り方である。(青少年)奉仕」が加わり「最も多く報われる」は5大奉仕になる。「profit mos」約100年前に弁護士「t」で、「最も多く利益のポール・ハリスがシカを得る」である。ここでゴで3人の仲間と作っ報交換をして仕事に活か。一、好意と友情を深の利益とは唯物的なものたのがロータリークラブのみであった。創立か。一、好意と友情を深めるか。

奉仕の機会を与えてくれるもの (一)

一、みんなのためになる

ではなく、精神的満足感、ブの始まりである。この当時の奉仕は「クラブ奉かだろうか。」の4つである。幸福感、充実感を指して「ころ、米国は貧困と犯罪」と「職業奉仕」の2つにあり、特に「職業奉仕」は最重要奉仕である。ロータリアンは日常の仕事の中で、この4つのテストにしたがって、知

2つの標語の具現化としてロータリーには「くまなく、助けを求めた。ラブ奉仕」「職業奉仕」たり、相談する相手もい。ロータリーには職業倫らさず知らずのうちに奉仕「社会奉仕」「国際奉仕」なかつた。そこで、3人理訓としてだけでなく、させていたでいるの4大奉仕があり、20の仲間と情報交換をす。近年日本では人生訓ともである。